

2011年度経営プラン Q3フォロー

2012年2月7日
古河電気工業株式会社
取締役CFO 櫻 日出雄

- 1. P/L、B/S 説明**
- 2. タイ洪水の影響額**
- 3. 営業利益増減分析**
- 4. セグメント別分析**
- 5. 業績予想の修正**
- 6. 品種別売上数量**
- 7. 今期の取り組み**

11Q3累計PL実績(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

PL	a	b	b-a	増減要因
	10Q3累計	11Q3累計	増減	
売上高	6,867	6,929 +0.9%	+62	特殊要因+129 (地金価格変動など)
営業利益	266	115	-151	⇒6~9ページで分析
支払利息	-46	-40	+6	
為替差損	-8	-3	+5	
経常利益	234	99	-136	
特別損益	-31	-146	-115	米国反トラスト(-153)、ガラス事業撤退(-26) 有価証券売却(+54)
法人税等調整額	-11	-51	-39	税制改正の影響(-39)
少数株主損益	-40	-15	+25	古河スカイ分(+19)
当期純利益	112	-148	-260	

(注)損益的にマイナス項目は-をつけた

11Q3末BS実績(前年度末比)

FURUKAWA ELECTRIC

(総資産、有利子負債の単位:億円)

BS	a		b	b-a
	10年度末	11Q3末		増減
総資産	8,269	7,878		-391
有利子負債	3,416	3,469		+53
自己資本比率	20.1%	17.3%		-2.8
D/Eレシオ	2.06	2.55		+0.49
総資産回転率	1.12	*1.16		+0.04
ROA (営業利益ベース)	4.2%	*2.6%		-1.6

*年率換算値

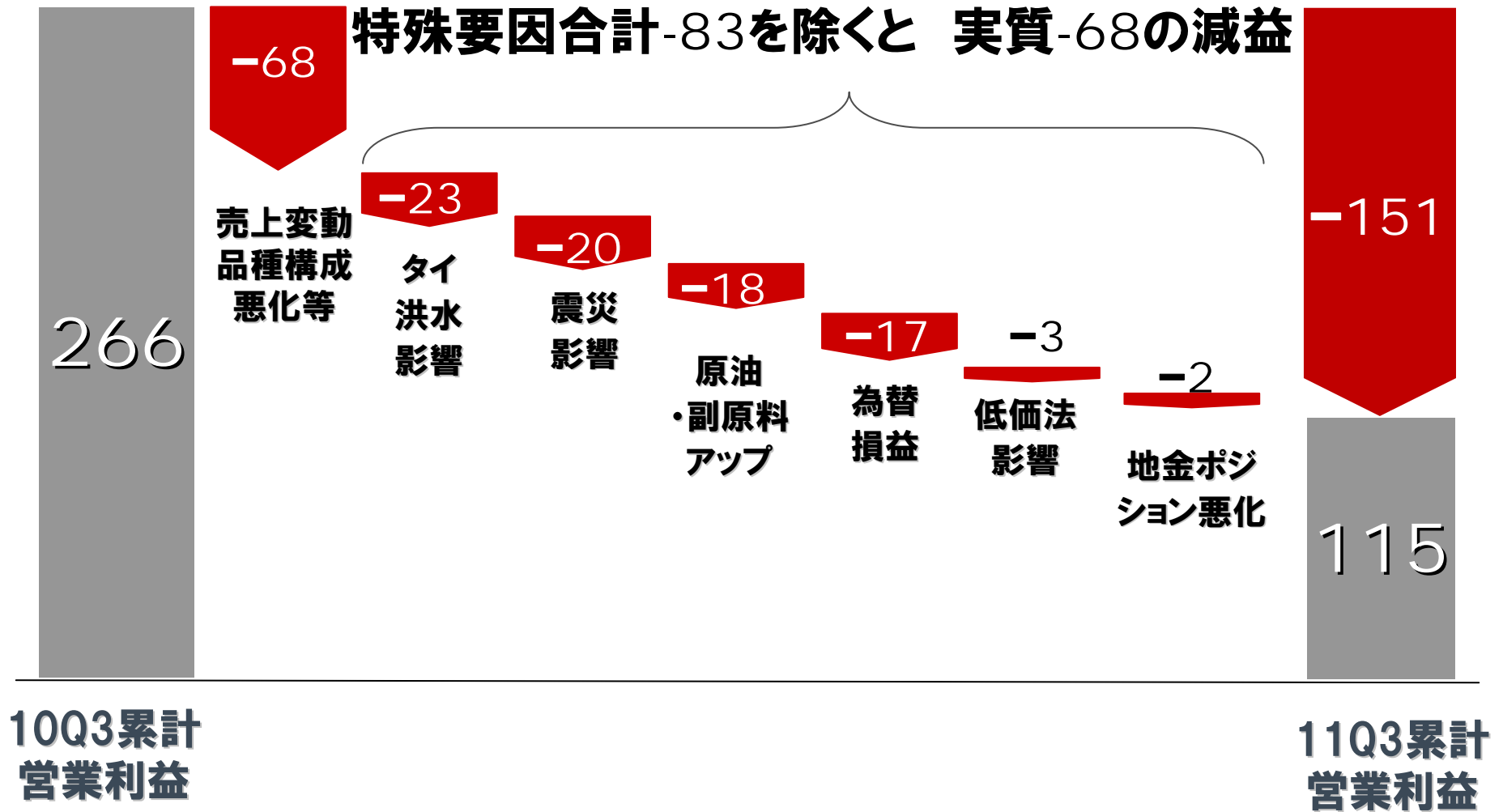
タイ洪水の影響額 (営業利益) と復旧状況

FURUKAWA ELECTRIC

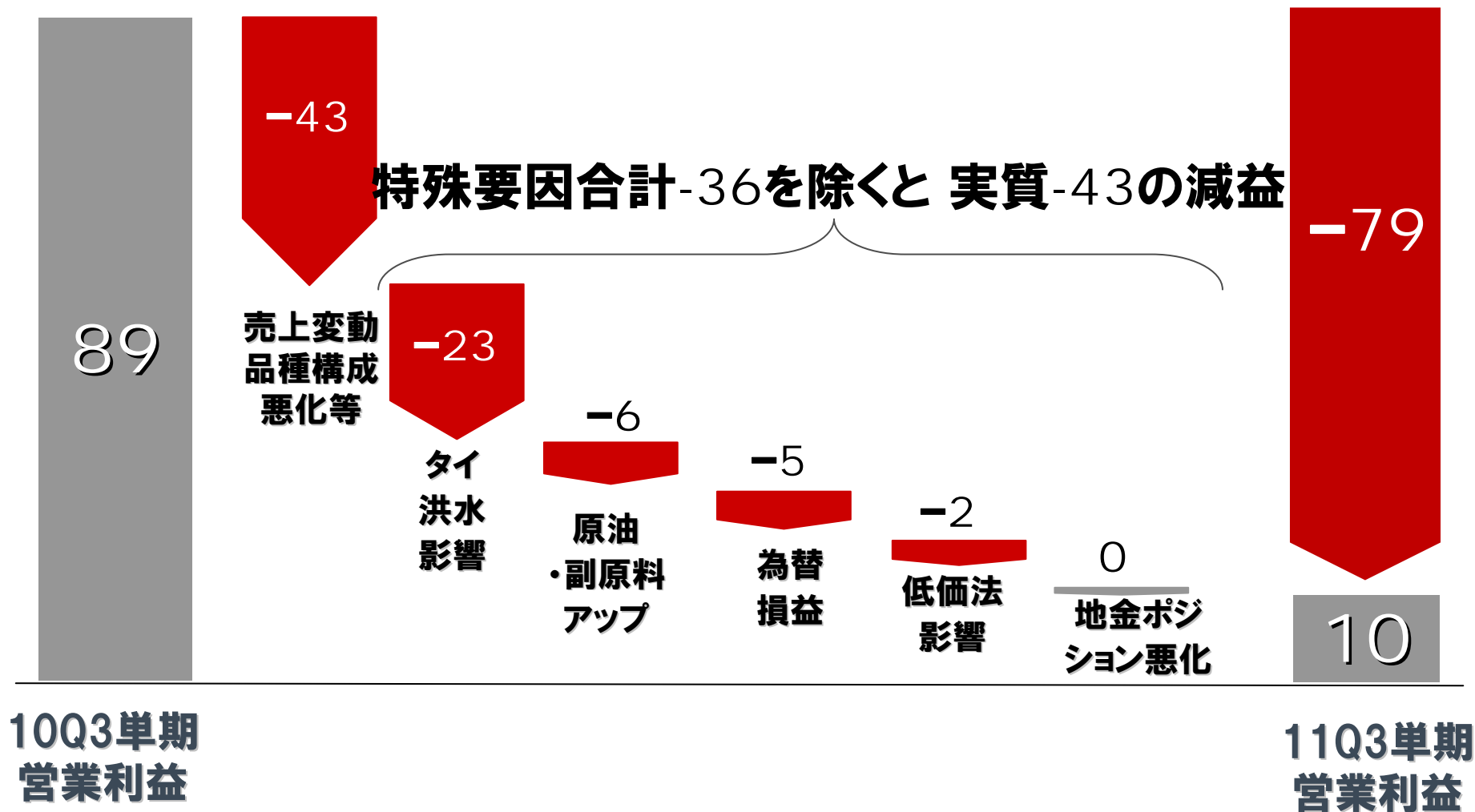
	旧年間予想	3Q実績	復旧状況
情報通信	-30	-7	タイ光部品、3月より順次製造を再開 第2拠点として中国東莞、製造を継続
エネ産機	0	0	
電装エレ	-10	-10	直接被害はなし 自動車サプライチェーン寸断による 間接被害が拡大 アルミブランク材回復は7月頃
金属	-4	-1	
軽金属	-6	-5	
合計	-50	-23	

(単位:億円)

(単位:億円)



(単位:億円)

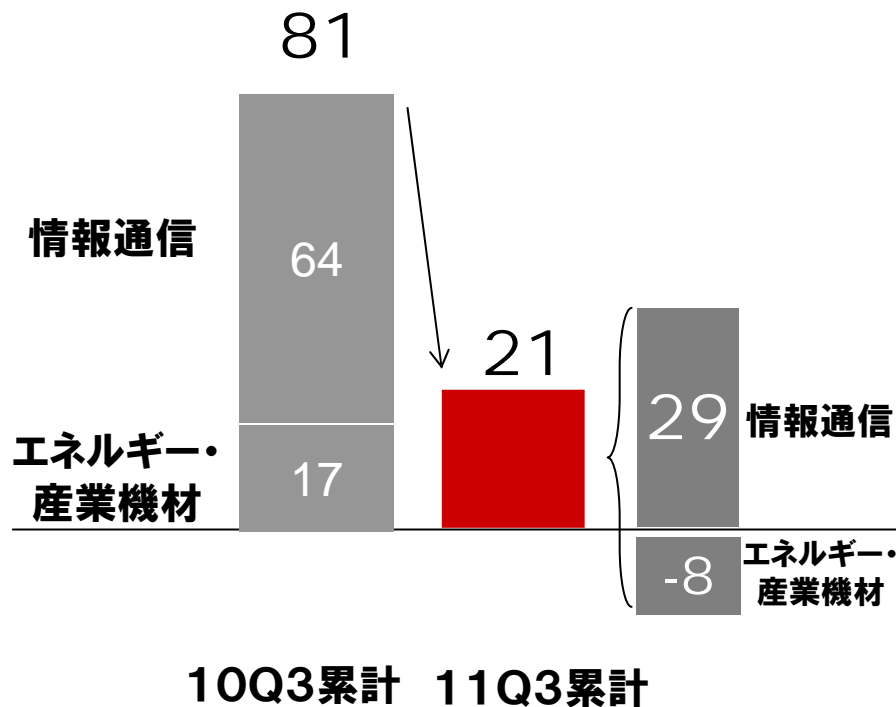


セグメント別営業利益推移(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

伝送インフラ系



【情報通信】

●光ファイバ・ケーブルは海外(北米・ブラジル)は好調でしたが、国内は円高や価格競争激化で悪化しました。

●一方、ネットワーク機器は去年の地デジ特需の反動減で低調、また、光アンプや通信用レーザーは円高・価格下落で悪化したことに加え、タイの洪水で大きなダメージを受けました。

【エネルギー・産業機材】

●LED液晶TV用MCPETは夏場から大幅に需要減となりました。

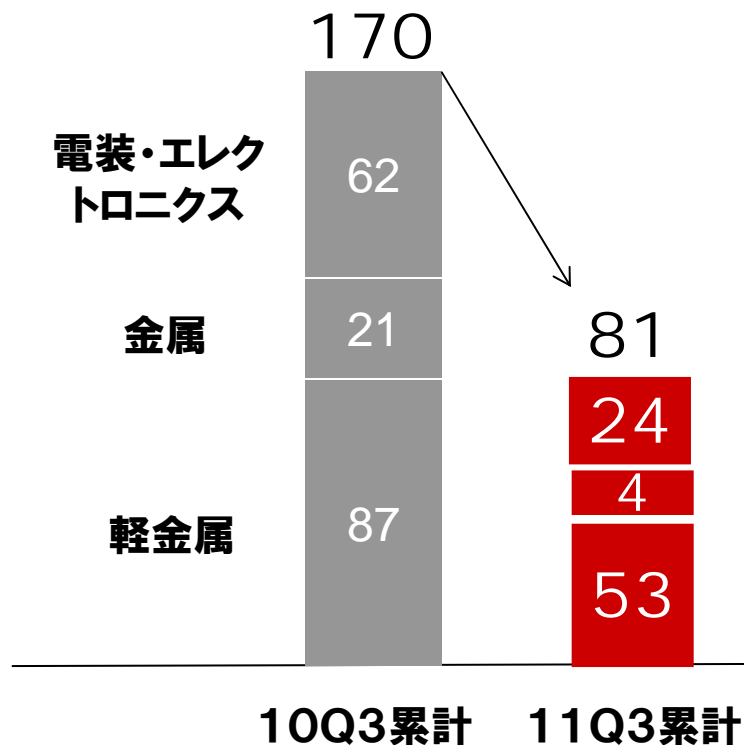
●国内電力会社向け高圧ケーブル・部品は低調でした。中国の需要は旺盛ですが、価格競争が厳しい状況です。

セグメント別営業利益推移(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

高機能素材系



【電装・エレクトロニクス】

●エレクトロニクス分野の需要が大幅減となりました。特にアルミブランク材、TEX(三層絶縁電線)が大きく落ち込みました。
●自動車部品関係は、震災から回復過程でタイの洪水があり、計画を下回りました。

【金属】

●ここもエレクトロニクス分野の落ち込みが大きく、電子部品用銅条、汎用銅箔が低調でした。電気自動車向けリチウム電池用銅箔は大幅に数量を伸ばしました。

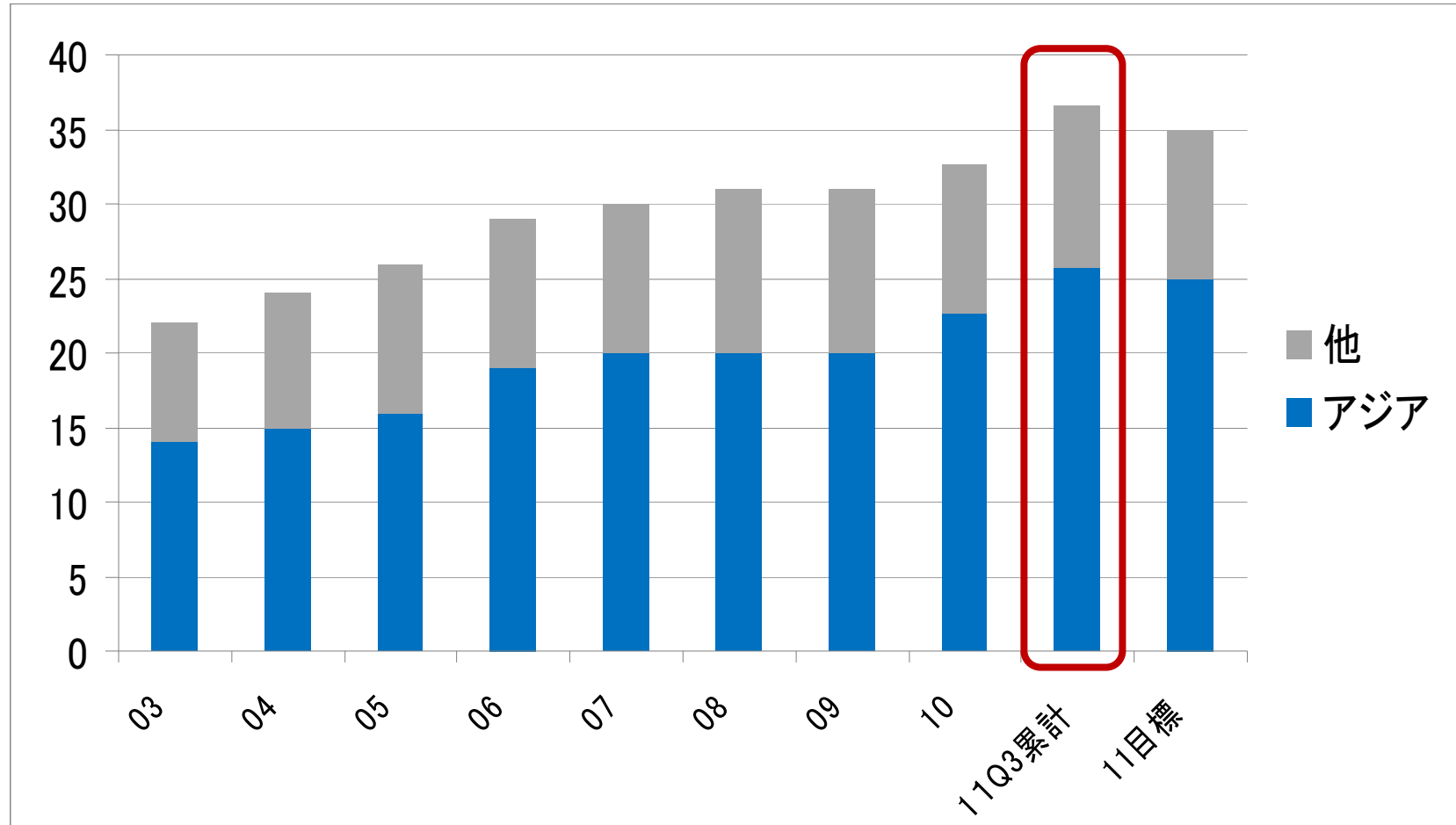
【軽金属】

●全般的に売上数量が伸びませんでした。特に、自動車関連や印刷板及びハードディスク材や輸出が減少しました。

海外売上高比率推移

(単位:%)

11年度Q3累計:36.6%、東南アジアで伸長



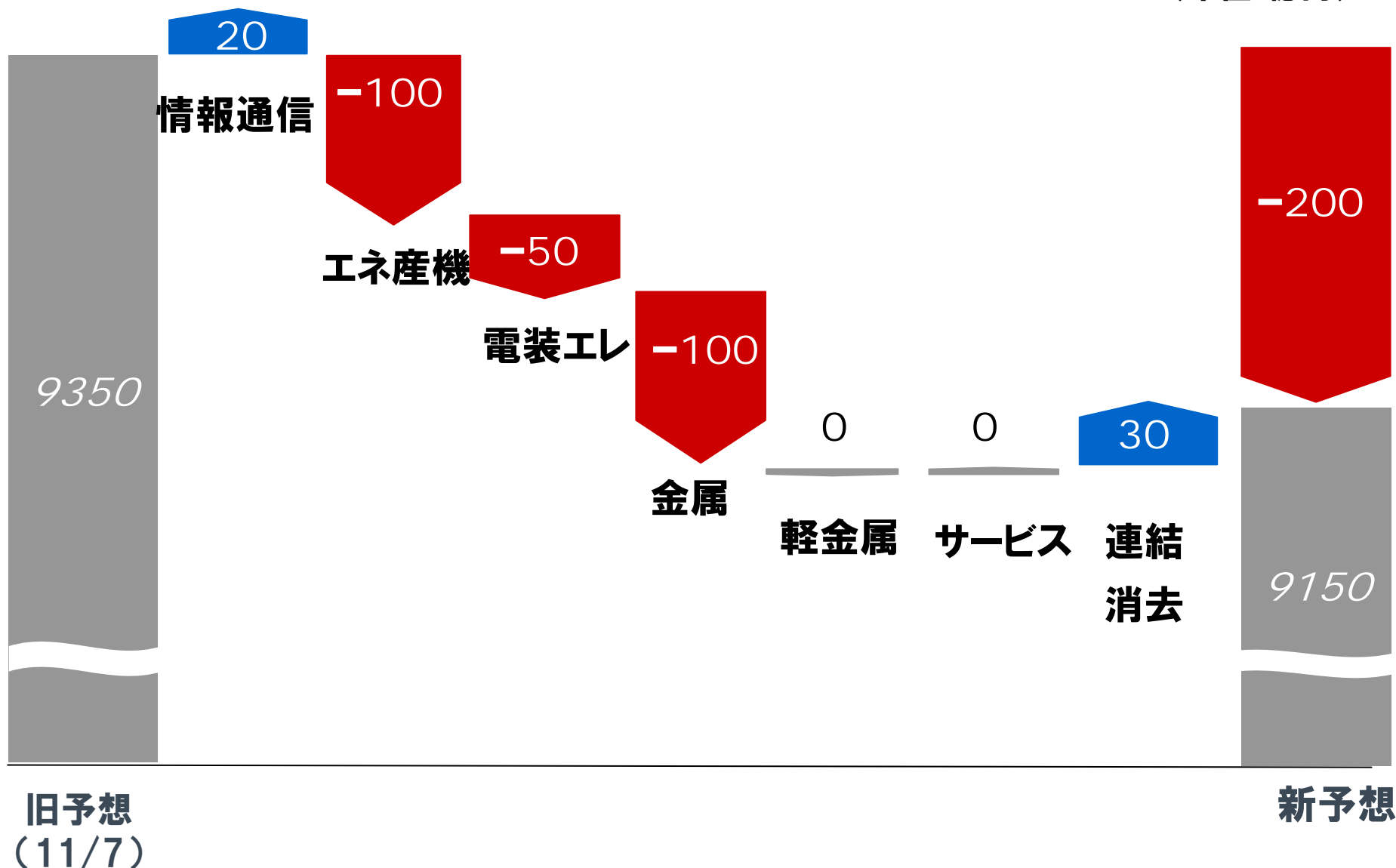
11年度業績予想修正

(単位:億円)

	11Q3累計	11年度		増減
	実績	旧予想	新予想	
売上高	6,929	9,350	9,150	-200
営業利益	115	170	125	-45
経常利益	99	145	90	-55
当期利益	-148	-50	-150	-100
配当	中間2.5円	年間未定	年間2.5円	
			(中間2.5円、期末0円)	
前提				
為替レート(円/ドル)	79.0	80	78 (Q4 77)	
銅ベース(円/kg)	722.6	750	690 (Q4 600)	
ドバイ原油(ドル/バレル)	108.2	107	109 (Q4 108)	

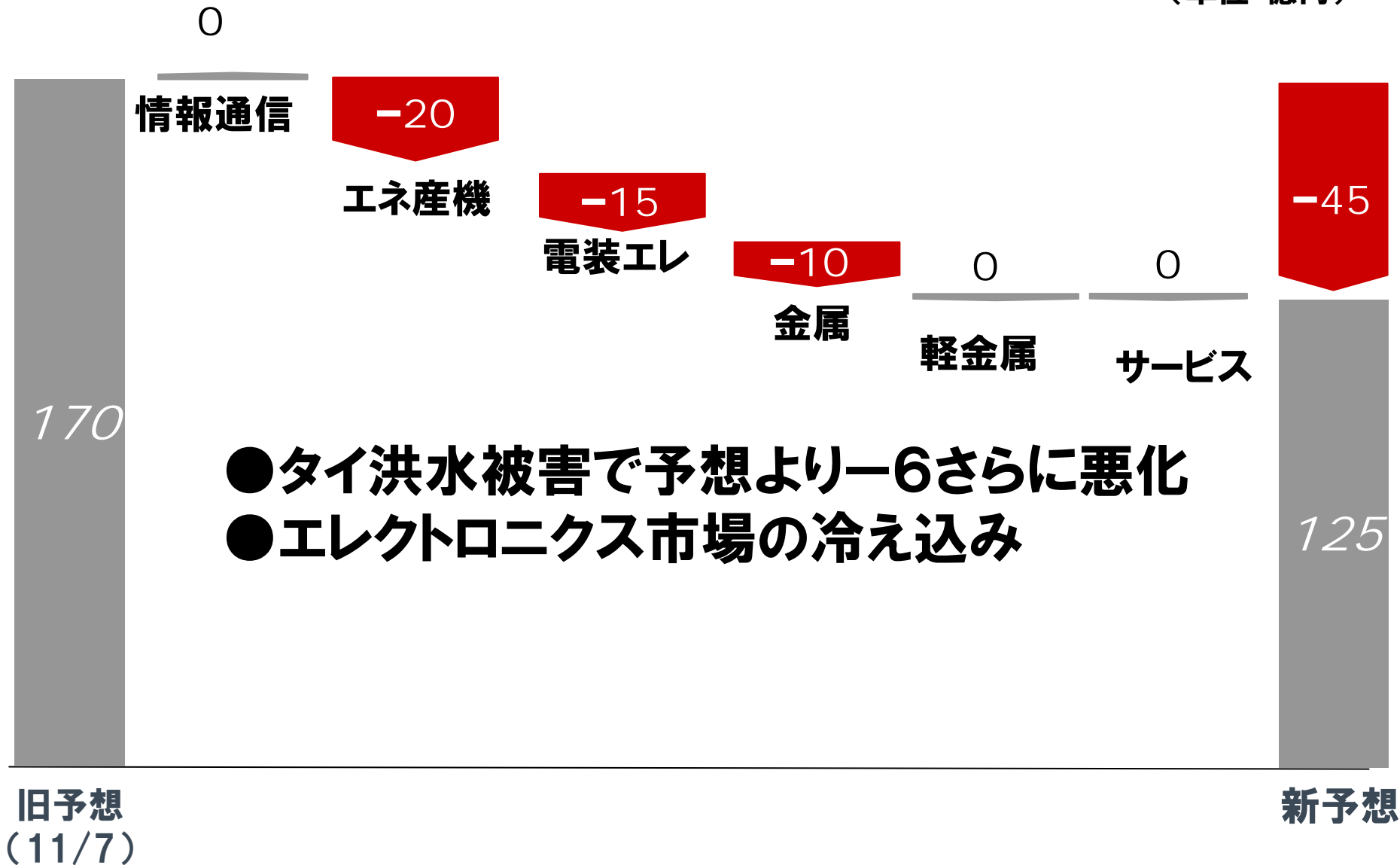
売上増減分析【11年度旧予想⇒新予想】

(単位:億円)



営業利益増減分析【11年度旧予想⇒新予想】

(単位:億円)



タイ洪水の影響額(営業利益)と復旧状況

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

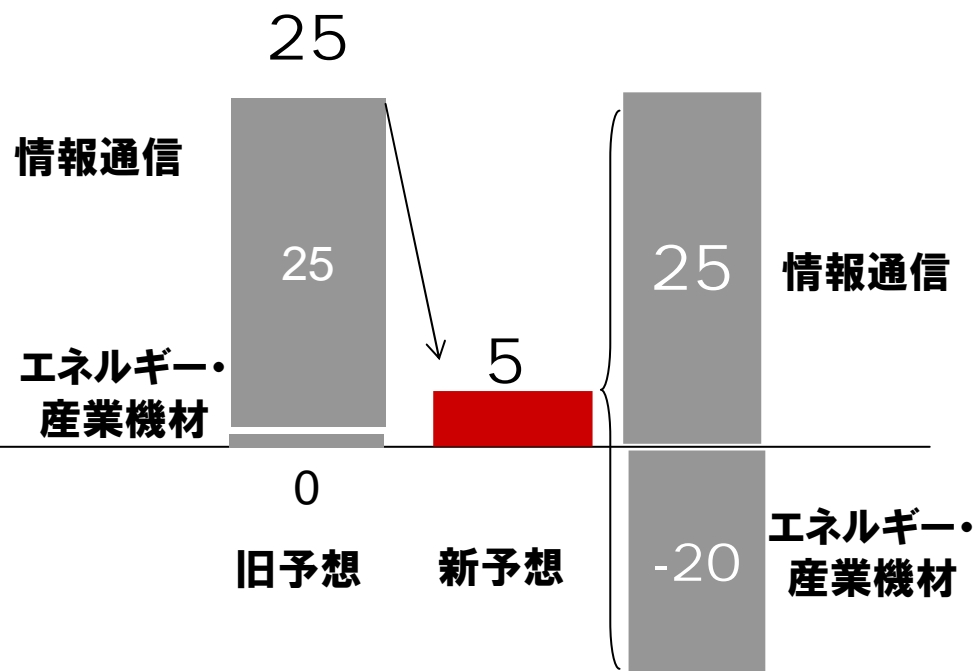
	旧年間予想	3Q実績	4Q予想	新年間予想
情報通信	-30	-7	-13	-20
電装エレ	-10	-10	-13	-23
金属	-4	-1	-5	-6
軽金属	-6	-5	-3	-7
合計	-50	-23	-33	-56

この他に、特損で-7発生、当期損失として-63となる。

セグメント別営業利益推移【11年度旧予想⇒新予想】

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

伝送インフラ系



【情報通信】

●タイ洪水の影響が予想より少なかったものの、国内光ファイバ・ケーブルが低調で、全体としては旧予想と変わりませんでした。

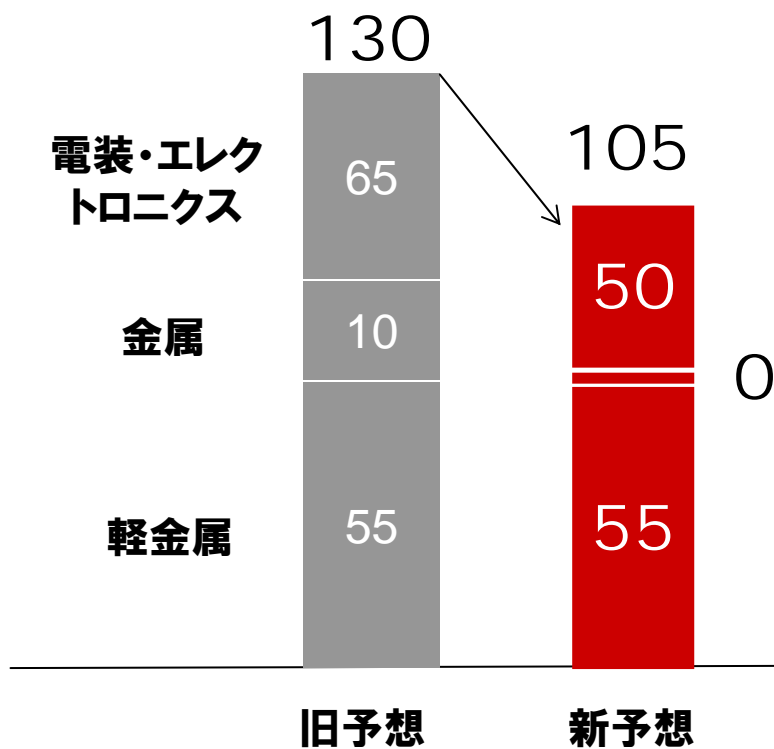
【エネルギー・産業機材】

●LED液晶TV用MCPETの需要減が予想より大きく、長期化しています。
●国内電力会社向け部品も低調でした。

セグメント別営業利益推移【11年度旧予想⇒新予想】

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

高機能素材系



【電装・エレクトロニクス】

- アルミブランク材、TEXの落ち込みが大きく、長期化しています。
- タイ洪水の影響が想定より大きくなります。

【金属】

- 電子部品用銅条、接点材料、汎用銅箔の落ち込みが大きい状況です。

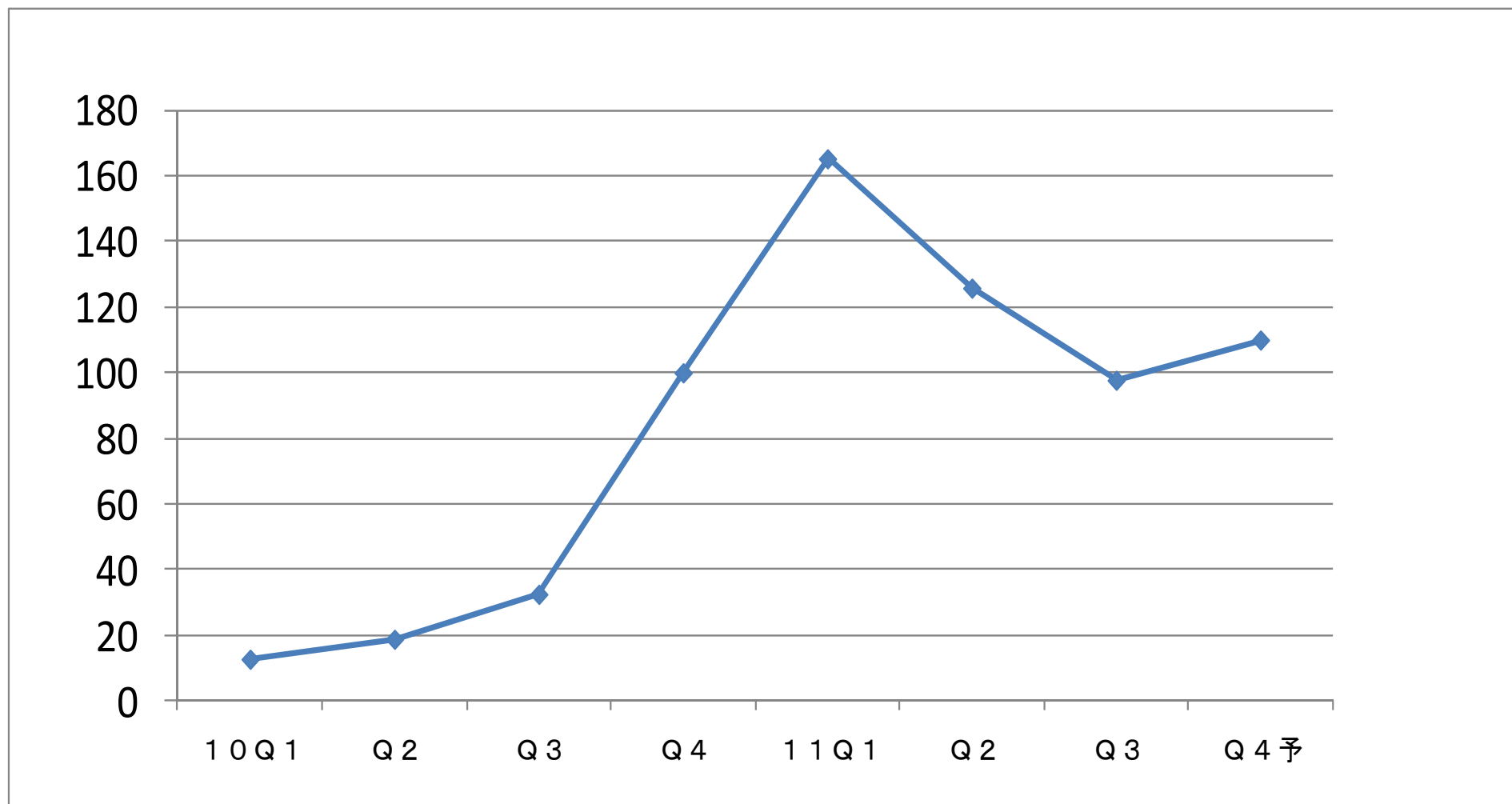
【軽金属】

- 自動車関連・印刷板・ハードディスク材の不振が続きます。
- タイ洪水の影響で缶材の輸出が減少します。

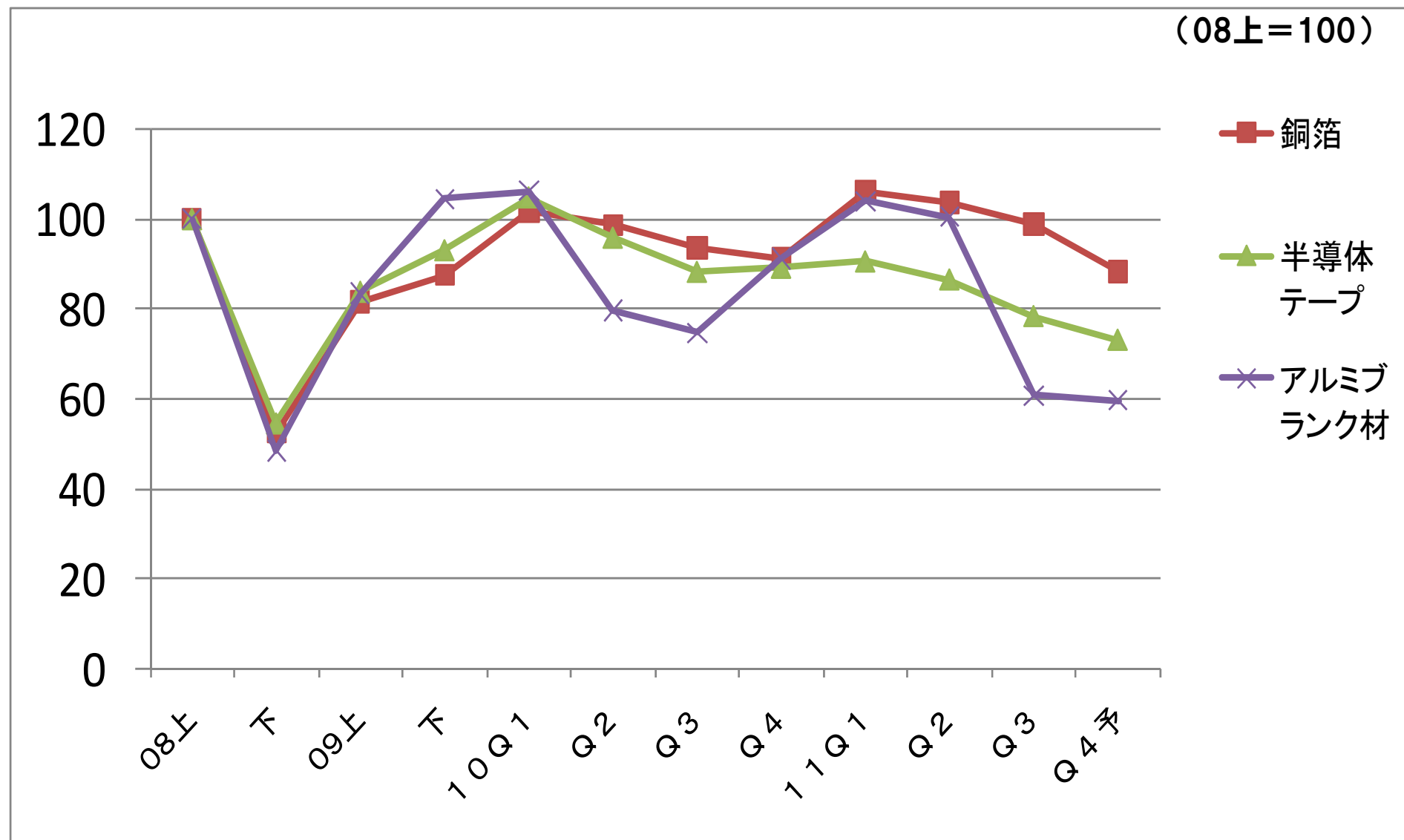
《液晶TV用MCPET》 売上量指数推移

FURUKAWA ELECTRIC

(10Q4=100)



《高機能素材》 売上量指数推移



今期の取組み ①

●事業構造の見直し

- ・ガラス基板事業からの完全撤退
- ・銅管国内スリム化完了(2011年12月)
- ・電力部品事業3社の統合検討開始
(統合時期:2013年4月→2012年10月へ前倒し)
- ・三菱電線の車載用コネクタ事業を買収(2011年12月)
- ・東京特殊電線の資本増強引き受け、連結子会社化を決議
(2012年2月)

●投資有価証券、不動産等の資産売却

今期の取組み ②

●グローバル成長への布石

- ・光ファイバ母材 中国ヘントン社との合併立上げ(12年春)
- ・古河西安、中国ヘントン社との合併合意 (11年12月)
- ・ブラジルFISA OPGW(光ファイバ複合架空地線)生産開始
(12年10月)
- ・米国スーパーパワー社の買収(12年2月)
- ・古河AS フィリピンにワイヤーハーネス新製造拠点を設立
(12年1月)
- ・電解銅箔 台湾増強 電池用:新会社生産開始(12年8月)
回路用:増産 (12年6月)

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***